

型名	回路方式	入力電流 (A) typ	突入電流 防止回路	基板/パターン面			直並列運転可否	
				材質	片面	両面	直列	並列
STA5000T	整流、平滑	15	SCR	ガラスエポキシ		○	×	×
STA5000T-R	整流、平滑	15	SCR	ガラスエポキシ		○	×	×

※ 入力電流は、ACIN200V・定格負荷時の値を示します。

■ その他特性データ

その他特性データは、<http://www.cosel.co.jp/dl/>をご参照ください。

1 端子配列 STA-6

2 機能説明 STA-6

- 2.1 入力電圧範囲 STA-6
- 2.2 突入電流 STA-6
- 2.3 過電流保護 STA-6
- 2.4 絶縁耐圧・絶縁抵抗 STA-6
- 2.5 過熱検知回路 STA-6
- 2.6 アラーム STA-6
- 2.7 リモートON/OFF STA-6

3 実装・取付方法 STA-7

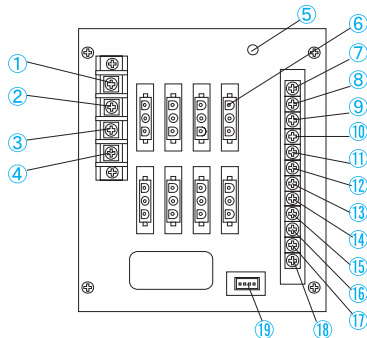
- 3.1 冷却方法 STA-7
- 3.2 取付ねじ STA-7

4 DBSシリーズとの接続 STA-7

- 4.1 接続方法 STA-7
- 4.2 シーケンスユニット STA-7

STA

1 端子配列



※1 ⑦～⑩はSTA5000T-Rだけに搭載

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| ①AC (R) | ⑪REMOTE SIGNAL1 ON/OFF (+) |
| ②AC (S) | ⑫REMOTE SIGNAL1 ON/OFF (-) |
| ③AC (T) | ⑬REMOTE SIGNAL2 ON/OFF (+) |
| ④FG接地端子 | ⑭REMOTE SIGNAL2 ON/OFF (-) |
| ⑤動作表示LED | ⑮REMOTE SIGNAL3 ON/OFF (+) |
| ⑥出力コネクタ | ⑯REMOTE SIGNAL3 ON/OFF (-) |
| ⑦ALM (+) | ⑰REMOTE SIGNAL4 ON/OFF (+) |
| ⑧ALM (-) | ⑱REMOTE SIGNAL4 ON/OFF (-) |
| ⑨SYSTEM ON/OFF (+) | ⑲信号 (AL OUT, REMOTE ON/OFF) コネクタ |
| ⑩SYSTEM ON/OFF (-) | |

2 機能説明

2.1 入力電圧範囲

■AC170～264V 3φでご使用ください。

上記以外を入力電圧を印加した場合、仕様を満足しない場合や故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

安全規格申請時の定格入力電圧範囲は「AC200～AC240V (50/60Hz)」です。

2.2 突入電流

■突入電流防止回路を内蔵しています。

入力にスイッチなどをご使用の場合は、入力突入電流に耐えるよう選定してください。

突入電流防止には、SCRを使用しているため、入力再投入時間が短い場合は、突入電流防止回路が解除していることがありますので、充分時間をおいてから再投入してください。

2.3 過電流保護

■本機は、過電流保護を入力のコネクタで行っています。

万が一出力コネクタ等をショートした場合、ヒューズが溶断します。

お客様でヒューズを交換される際は、以下のヒューズ（または相当品）をご使用ください。

ヒューズ型名：BLN30 メーカー：LITTEL

2.4 絶縁耐圧・絶縁抵抗

■受入検査などで耐電圧試験を行うとき電圧を徐々に上げてください。

また、遮断するときもダイヤルを使用し、電圧を徐々に下げてください。

特に、タイマー付き耐電圧試験は、タイマー動作時に印加電圧の数倍の電圧が発生する場合がありますので避けてください。

2.5 過熱検知回路

■外部FAN停止等で電源内部の温度が上昇した場合、過熱検知回路が動作します。

過熱検知回路が動作した場合は、入力電圧を遮断し電源内部が十分に冷えた後に電源の入力を再投入してください。

2.6 アラーム

■電源の動作をモニターするためにアラーム信号出力回路を内蔵しています。

アラーム信号出力回路が動作した場合は、AL OUT (STA5000T-Rの場合はALM) 端子がL→Hになります。

アラーム信号は以下の場合に出力されます。

- (1) 3相入力中1相が故障等により欠相した場合
- (2) 過熱検知回路が動作した場合

ただし、アラーム回路が動作した場合でも出力電圧は停止しません。

そのままご使用された場合は、本機が故障する恐れがありますので、アラームを検出した場合入力を遮断する等の処置をお願いします。

また、軽負荷時に瞬時停電が発生した場合、AL OUT (STA5000T-Rの場合はALM) 端子がL→Hになることがありますので、ご使用の際は事前にご確認ください。

2.7 リモートON/OFF出力

■後段に接続したDC-DCコンバータのリモートコントロール用に、リモートON/OFF回路を内蔵しています。

本機にAC入力を投入し、数100ms経過後にREMOTE ON/OFF端子がH→Lになります。

なお、以下の場合はREMOTE ON/OFF端子がL→Hになります。

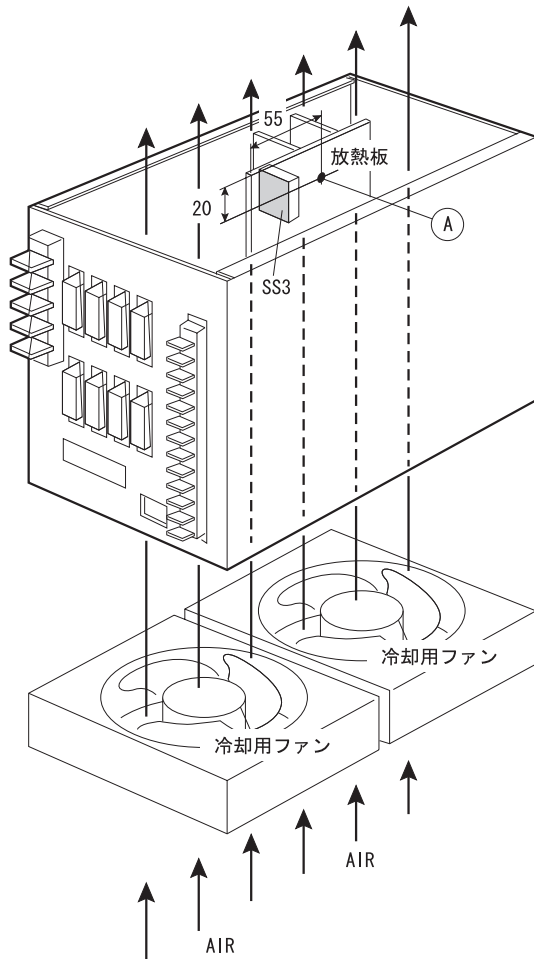
- (1) 3相入力中1相が故障等により欠相した場合

また、軽負荷時に瞬時停電が発生した場合、REMOTE ON/OFF端子がL→Hになることがありますので、ご使用の際は事前にご確認ください。

3 実装・取付方法

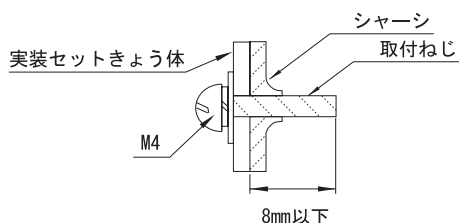
3.1 冷却方法

■本機は外部FANによる強制通風でのご使用を前提に設計されています。ご使用の際は、冷却用の空気を電源内部に均一に流す構造にして、本機A部の温度を75℃以下でご使用ください。



3.2 取付ねじ

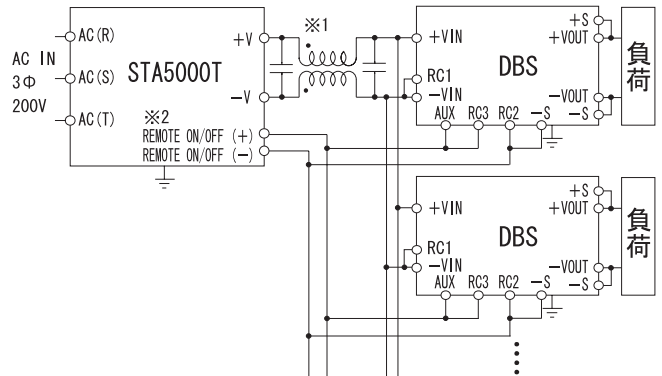
■電源の取付方法は、取付ねじと内部部品との絶縁距離を保つため、以下の値を守ってください。



4 DBSシリーズとの接続

4.1 接続方法

■STA5000TにDBSシリーズを接続する場合の注意点を示します。



4.2 シーケンスユニット

■DBSシリーズのリモコン回路をあるタイミングでON/OFFさせるためのシーケンスユニットをオプションとして搭載することができます。

シーケンスユニットを使用することで、最大4系統のDBSに対して時間差を持たせて起動/停止させることができます。シーケンスユニットの動作は、SYSTEM ON/OFF端子をショートさせることで、REMOTE SIGNAL1~4 ON/OFF端子がH→Lになります。なお、以下の場合にはSYSTEM ON/OFF端子がショート状態であってもREMOTE SIGNAL1~4 ON/OFF端子がL→Hになります。

- (1) 3相入力中1組が故障等により欠相した場合
- (2) 過熱検知回路が動作した場合

シーケンスユニットを搭載した場合、機種名は「STA5000T-R」となります。

また、軽負荷時に瞬時停電が発生した場合、REMOTE SIGNAL1~4 ON/OFF端子がL→Hになることがありますので、ご使用の際は事前にご確認ください。

シーケンスユニットの詳しい使用方法につきましては、当社までお問い合わせください。

※1 要求されるノイズ規格によっては、ノイズフィルタが必要な場合があります。特に配線が長くなるような場合は、配線からの放射ノイズ低減のためノイズフィルタの挿入をおすすめします。

※2 REMOTE ON/OFF端子（STA5000T-Rの場合はREMOTE SIGNAL ON/OFF端子でも可）を接続してDBSを起動させてください。接続せずにご使用された場合は、STA5000Tが破損する場合がございます。